

| 株 | 主 | 通 | 信 |

黄櫨染 *korozen*

第 4 期 中 間 期

平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日

ISETAN MITSUKOSHI HOLDINGS



三越伊勢丹ホールディングス

3 ごあいさつ

4 事業のご報告

10 三越伊勢丹グループの
取り組み

12 三越の取り組み

13 伊勢丹の取り組み

14 エムアイカード社の
取り組み15 CSR(社会的責任)に関する
取り組み

16 連結財務諸表

18 三越伊勢丹ホールディングスの概要

19 株式に関するお知らせ／株主メモ

20 グループ店舗のご案内

※当株主通信におきましては、「中間期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)」を「第2四半期」とする等の表記をしております。

グループスローガン

向きあって、その先へ。

グループの姿勢

真摯に、しなやかに、力強く、向きあいます。

お客さま一人ひとりと向きあいます。……ご要望とご期待に感動レベルのおもてなしでお応えします。

仲間たちと向きあいます。……学びあい、磨き合い、新たな価値を創造します。

株主の皆さまと向きあいます。……公正透明な経営を基盤に、誠意と成果でお応えします。

パートナーの皆さまと向きあいます。……顧客満足を合言葉に、最良の関係を築きます。

地域、社会、地球と向きあいます。……ありがたい未来の実現に向けて貢献します。

将来にわたり、かけがえのない信頼関係を築いていきます。

グループビジョン

「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、
お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、
お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、
高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」となる。

世界随一の 小売サービス業グループの実現に向けて

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
また、このたびの東日本大震災により被災されました皆様にご挨拶とお見舞い申し上げますとともに、
一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

さて、平成23年9月30日をもって、株式会社三越伊勢丹ホールディングスの
第4期中間期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の決算を行いましたので、
ここに株主通信をお届けさせていただきます。何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

当中間期の日本経済は、震災後の原子力災害や電力不足が長期化する中で、
海外経済の下振れリスクが高まるとともに急激な円高の進行もあり、
極めて不透明な状況が続きました。

この間、当社グループにおきましては、本年4月1日をもって、
(株)三越と(株)伊勢丹が合併し(株)三越伊勢丹が誕生いたしました。
今後同社は、「三越」と「伊勢丹」という二つの「のれん」の統合効果を最大限に高め、
グループ全体の成長と拡大を牽引してまいります。

経済環境は今後も厳しい状況が続くと思われませんが、一人ひとりのお客さまと向き合い、
新しい価値を創造することで、「世界随一の小売サービス業グループ」を実現すべく、
全社一丸となって邁進してまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社
三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員

石塚 邦雄

株式会社
三越伊勢丹
代表取締役社長執行役員

大西 洋



平成23年4月の株式会社三越伊勢丹の誕生により、統合が完了いたしました。
これからは統合の成果を発揮し、5事業による新たな成長路線へ進みます。



株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員

石塚 邦雄

Q1. 東日本大震災から
半年が経過しましたが、
その後の影響は？

業績への影響については、日本全体の消費に長期的な影響を与えるのではないかと危惧していましたが、被災地の仙台三越も含め全体的に回復の兆しが見えております。しかしながら、国内外の経済不安と震災復興が今後の消費動向に与える影響もあり、予断を許さない状況が続くと認識しています。

東日本大震災の発生直後には、石巻市、名取市、多賀城市などへ支援便を多数送り出すことで、調達に苦慮されていた物資の提供をさせていただきました。また、長年ご愛顧いただいた地域の復興を支援するため、義援金の拠出や店頭での募金活動を実施いたしました。さらに、今後も全事業所の力を結集することで、地域復興のお役に立ちたいと考えております。

なお、当社グループは仙台、石巻に三越の事業所があり、多くの社員が働いておりましたが、東日本大震災では甚大な被害を受け、残念ながら2名の社員の尊い生命が失われました。当社グループは、この悲しみを乗り越えるとともに、全社を挙げて復興に取り組み、仙台三越は、4月28日に全館で営業再開を果たしております。

Q2. 当第2四半期の
当社グループの
連結業績について

当第2四半期の日本経済は震災後の影響に加え、株安・円高を背景とした国内経済の不透明感、海外経済の先行き不安などで、厳しい状況で推移いたしました。こうした中、当社グループはグループビジョンである「世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向け、グループの

持つ強みと経営資源を最大限に活かすために、株式会社三越と株式会社伊勢丹を合併するなど、営業力の強化と業務効率の向上に向けて諸施策を推進いたしました。その結果、当第2四半期の連結決算は、売上高は5,836億円余、前年同期比100.6%となりました。また、営業利益は90億円余、経常利益は157億円余、四半期純利益は205億円余となり、いずれの利益も前年同期を大きく上回りました。

Q3. 当社グループの中期の経営戦略について

平成20年4月に三越と伊勢丹が経営統合してからは、カード、システムなどの基盤整備、そしてグループ会社の再編などに戦略の重点を置いてまいりました。そして本年4月に株式会社三越と株式会社伊勢丹が合併したことで、当社グループは統合の成果を発揮する新しいフェイズ

を迎えることとなります。そこで、当社グループは、今後を見据えた新しい中期計画の策定に取り組んでおります。

新たな中期計画では、百貨店事業を基幹とし、海外事業、ダイレクト事業、スーパーマーケット事業、カード事業の5つを柱に事業を展開してまいります。

百貨店事業は、これからも当社グループの基幹であることから、事業をより洗練化することで、日本国内で高いシェアを獲得し続けることを重点施策といたします。

海外事業では、中国や東南アジアを中心ことから、日本で培った経験とノウハウを駆使して積極的に出店してまいります。また、場所や時間などの制約から、なかなか百貨店をご利用いただけない皆様に向けて、ダイレクト事業とスーパーマーケット事業を強化していきます。ダイレクト事業では、ネット通販や宅配等、お客さまと接

するチャネルを数多く構築する一方、スーパーマーケット事業では、各地への出店ペースを速めてまいります。これらにより当社グループをより身近に感じていただくとともに、百貨店をご利用いただいているお客さまにも情報をお伝えするなど、事業間の相乗効果もより発揮できる仕組みづくりを推進いたします。さらに、カード事業では、決済業務はもとより、お客さま一人ひとりのライフスタイルや生活と深く関わり、物

販にとらわれない幅広いサービスを提供してまいります。

Q4. 株主の皆様からのご期待には、どのように応えていきますか

業績・配当面で企業価値を上げていくことが、ご期待にお応えする第一義であることは十分に承知しております。その前提として、株主の皆様が「三越伊勢丹ホール

(百万円)

連結	第1期 (平成21年3月期)		第2期 (平成22年3月期)		第3期 (平成23年3月期)		第4期 (平成24年3月期)
	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(当第2四半期)
売上高	705,436	1,426,684	617,105	1,291,617	579,921	1,220,772	583,645
営業利益または 営業損失(△)	11,221	19,582	△425	4,177	917	10,993	9,046
経常利益	19,236	35,052	6,867	19,730	8,593	27,093	15,704
四半期(当期)純利益 または当期純損失(△)	12,198	4,683	4,159	△63,521	413	2,640	20,576
1株当たり四半期(当期) 純利益または1株当たり 当期純損失(△)(円)	31.45	12.08	10.73	△162.51	1.05	6.69	52.16
純資産	515,015	489,740	491,103	425,120	414,703	418,152	436,250
総資産	1,392,704	1,351,633	1,351,283	1,238,006	1,237,875	1,237,775	1,204,285

ディングスの株を持ってよかった」と思っていただけのような、魅力的な店舗づくりに取り組むことが重要だと考えております。

一方で、今回の震災に際しましては、前期末の配当の減額を余儀なくされましたが、被災地支援に尽力したことを多くの株主様に高く評価していただきました。こうした社会の要請にお応えすることも、株主の皆様のご期待にお応えする重要な要素だと考えております。従いまして、コンプライアンスやCSR、環境問題等への具体的な取り組みや成果について、株主の皆様にご理解いただけるよう、今後も積極的な情報の発信に努めてまいります。

Q5. 当期の通期業績の見通しは？

本年4月の株式会社三越と株式会社伊勢丹の合併効果が本格的に現れるのはこれからだと考えていますが、すでに良

い兆しもいくつか見えてきています。例えば、三越と伊勢丹の経験を積んだ社員が集まっていち早くスタートした外商部では、三越で効果のあった施策を伊勢丹のお客さまに提供したり、伊勢丹で取り組んできた手法で三越のお客さまにアプローチするなど、お互いの経験やノウハウを活かし合うことで前年同期を上回る業績を上げています。また、他の部署でも徐々に統合の成果が現れると感じており、大いにご期待いただきたいと思います。

景気の先行きは不透明ですが、こうした中で当社グループの戦略効果を踏まえると、当期における通期業績は、売上高は1兆2,140億円余（前年同期比99.4%）、営業利益は190億円余（前年同期比172.8%）、経常利益は320億円余（前年同期比118.1%）という見通しを立てております。当期末の配当につきましては、通期の業績をベースに、今後の

事業計画などで必要な内部留保を勘案するとともに、今までの配当実績を重視した安定的な配当を実施することを基本方針としております。前期末は震災の影響などにより、配当を1株当たり7円に減額させていただきましたが、当期末は従来通り1株当たり10円の配当を考えております。また、通期業績が見通しを大幅に上回った場合には、諸事情を勘案したうえで増額も検討してまいります。

なお、当社は従来より中間配当を行わず期末に一括して配当を実施しておりますが、当期におきましても同様です。株主の皆様にはご了解賜りたいと存じます。

Q6. 今後に向けてのメッセージをお願いします

被災した仙台店を再開したとき、多くのお客さまから「百貨店で買い物をしたり、

販売員と話をすることで癒される、心が豊かになる」という喜びのお声をいただきました。また、社員からも「働く場を失った人が多い中、私は仙台三越で働ける。しかも、応対するお客さまから励まされる。こんな職場で働けて本当に嬉しい」という言葉を聞きました。今回の震災では、私たちが百貨店の原点に立ち戻り、社会の求める役割をきちんと認識したうえで事業を運営することの重要性について、多くの場面で気づかされました。

この想いを経営に反映することで、お客さまに支持される店舗をつくり、百貨店業界の中で確かな地位を築き上げ、企業価値を高めることで、その成果を株主の皆様に戻元していきたいと考えております。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お客さまのライフスタイル全体に接点を持ち、
さまざまなシーンで感動していただける店舗づくりを目指します。



株式会社三越伊勢丹
代表取締役社長執行役員

大西 洋

Q1. 当第2四半期の株式会社
三越伊勢丹の業績について

東日本大震災の影響による業績の下振れを相当覚悟しておりましたが、消費の活性化に向けた機運の高まりや省エネ・クールビズへの積極的な対応により、また、支店において地元消費が増えたことなどにより、減収は最小限に留めることができました。結果といたしまして、株式会社三越伊勢丹の当第2四半期の売上高は2,954億円余、前年同期比96.7%、営業利益は60億円余、前年同期比304.9%となりました。

今後につきましては、株安・円高による国内経済の先行き不安や世界経済の不透明さから、厳しい状況がまだ続くと考えております。

Q2. 株式会社三越伊勢丹が
目指す百貨店の
将来像について

将来の人口推移や業態を超えた小売ビジネスの多様化により、今後も百貨店事業を取り巻く環境は厳しいと認識しております。こうした中で確固たる業績を上げていくためには、お客さま一人ひとりに当社に対する信頼感や愛着を持っていただくとともに、衣・食・住・遊・知といったライフスタイル全体において、当社とお客さまが接点を持ち、深く関わっていくことが重要なポイントになると考えております。

そこで、“お得意様”という百貨店の原点にある考え方を店頭において徹底し、お客さま一人ひとりのお名前、お顔、お好み等を憶えたうえで、お名前をお呼びしながら、きめ細やかな応対を実践してまいります。また、商品やサービスの価値を

高めることで、百貨店が流通・小売業の中で一番のグレードとクオリティを持つ存在として認識されるように努めてまいります。さらに、“モノ”だけでなく、お客さまの生活全般の“コト”にも関わる視点で、トータル・ライフ・アテンダント事業を展開することで、お客さま一人ひとりとさまざまな接点を持ち深く関わってまいります。

こうした3つの取り組みを大きな柱として、百貨店の未来を創造していきたいと考えております。

Q3. 今後の重点施策は?

百貨店の未来像を確実に構築していくための施策を実施してまいります。まずは、お得意様づくりですが、これに関しては、すでに各店舗・各ショップにおいて取り組みを開始しております。

次に、商品やサービスの価値を高めるための取り組みとしては、仕入構造の改革に着手し、製造小売業(SPA)のように、マーケティングからモノづくり、そして販売までを自らの手で一貫して手掛ける活動を進めてまいります。マーケティングに関しては、店頭で把握したお客さまのお声を反映し、よりご満足いただける価値ある商品やサービスのご提供に努めてまいります。

また、お客さまとの接点づくりについては、トータル・ライフ・アテンダント事業のほか



<当社グループの独自商品「オンリー・エムアイ」・三越日本橋本店>

<各店の業務オペレーション等を標準化した「ユニットショップ」・伊勢丹浦和店>

か、新たな業態として「ラグジュアリーコスメ」の編集ショップの出店施策を推進いたします。これは利便性の高い駅ビル等の外部商業施設に、150~200平米の小規模店舗を展開するもので、お客さまの生活行動圏に深く入り込み、百貨店で培ったノウハウを活かした商品やサービスをご提供することで、当社グループをさらに便利にご利用いただける環境を整えてまいります。

さらに、昨年から「Japan Senses」という取り組みを展開しております。これは、

日本の素材や技術力を活かした素晴らしいモノづくりを見つけ出し紹介するものです。日本の文化に根ざした本当によいものをお客さまにご紹介することも百貨店の大切な使命と考え取り組んでおります。

日本のモノづくりを紹介する「Japan Senses」



<伊勢丹「ふいふい、ふるしき祭」の広告>

Q4. 伊勢丹の新宿本店と三越の日本橋本店のリモデルの方向性について

当社の事業の根幹を担う三越日本橋本店・銀座店、伊勢丹新宿本店の首都圏基幹3店舗のうち、三越銀座店は、昨年9月に増床工事を完了しております。現在は、来年の秋に向けて伊勢丹新宿本店の再開発を計画しており、このリモデルが完了した後に、三越

日本橋本店の再開発に取り組んでまいります。

伊勢丹新宿本店はファッション分野において時代の先頭を歩んできた店舗であり、高いファッション感度が同本店を支える最も重要な要素だと考えております。そこで、百貨店業界だけでなく、衣・食・住のすべての分野において、各界をリードする方々の生活感覚や感性を盛り込み、従来の発想をはるかに超えた百貨店、お客さまのご期待に高いレベルでお応えできる百貨店、世界

今後リモデルを予定する2店舗



<伊勢丹新宿本店>



<三越日本橋本店>

をリードする百貨店の実現を目指してプランニングを進めております。今回の再開発におきましては、例えば、研ぎ澄まされた感性を持つアーバンマザーとお呼びしている30代のご婦人から、強いこだわりを持つ50代のHANAKO世代のご婦人までの衣・食・住・遊をテーマに、従来とは違った観点でフロアレイアウトやショップ構築を計画しています。また、環境面におきましても、建築デザイナーと内装デザイナーのコラボレーションにより、お買物に喜びを感じていただ

けるような空間づくりを目指し着々と準備を進めております。

三越日本橋本店の再開発におきましては、伝統あるお客様制度を活用し、お客様のご意見を反映したプランを軸に、40代から50代のお客さまに向けたご提案

を積極的に展開していきたいと考えております。まだまだ具体化はこれからですが、同店のグランドフロアの壮大な空間と新館の活かし方等が重要なポイントになると考えております。

Q5. 株主の皆様へのメッセージをお願いします

株主の皆様には、株主様ご優待制度もございますので、是非ともご来店いただきたいと思っております。そのときに「まさしくここがマイデパートメントストアである」と感じていただき、次に何かお買物がしたいと思われたときも、すぐに「三越、伊勢丹へ行こう」と思っていたくことを切に願っております。また、皆様にそのように思っていたくために、私たちがすべきことがあれば、是非ご意見を賜りたいと考えております。

百貨店とは、単に、お客さまに商品を

買っていただく“場”を提供するだけではなく、販売員との会話やおもてなし、環境などでワクワクした気持ちになり、「今日は三越、伊勢丹に来て本当に良かった」と感動していただけるようになることを目指すべきだと考えております。どのような状況であっても、ご来店いただいたお客さまに感動をご提供し、また、その感動を当社にご期待いただけるように、私たちはさまざまな施策に取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

取り組み

1

中国・東南アジアにおける百貨店事業を拡大しております

当社グループは、成長を続ける中国・東南アジア地域において、百貨店事業の拡大を図ってまいります。同事業におきましては、当社グループの日本国内における商品調達力を最大限に活かすことで安全性・信頼性の高い商品を、独自の編集と日本式のサービスでご提供してまいります。

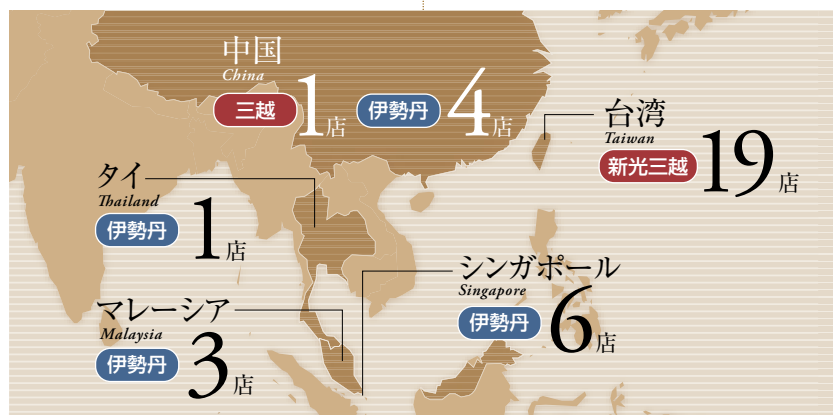
平成22年3月に、中国における事業拡大に向け持株会社「伊勢丹(中国)投資有限公司」を設立しましたが、平成24年秋には、国家プロジェクトとして開発が進む「濱海新区」内

の近代サービス産業区に、天津市で2店舗目となる百貨店を開業する予定です。

また、マレーシアのクアラルンプール市では、平成24年春に、同市近郊のショッピングセンター内に、同国で4店舗目となるワンウータマ店を開業する予定です。



<天津2号店 (完成後のイメージ)>



※店舗名は裏表紙をご覧くださいませ。

取り組み

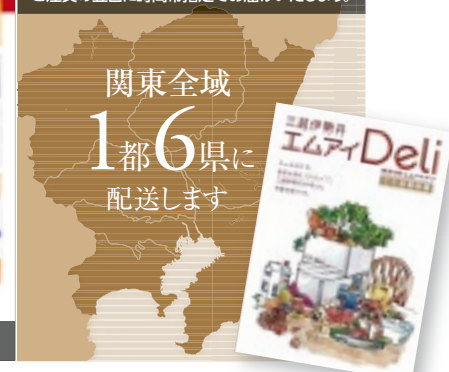
2

会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」を開始いたしました



三越伊勢丹エムアイデリホームページ <http://tim-ds.co.jp>

関東全域の1都6県(一部除外地域あり)に、ご注文の翌日に時間帯指定でお届けいたします。



株式会社三越伊勢丹通信販売は、当社グループ中期計画における成長戦略の一環として平成23年10月22日より、会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」を開始いたしました。

共働き夫婦の増加や少子高齢化、中食への関心の高まりなど、社会環境やライフスタイルが変化する中、食品宅配サービスに対するニーズはさらに高まっており、新サービスではお客さまの多様化するご要望にお応えする独自の仕組

みと品揃え、利便性の高いサービスを提供いたします。

独自基準で食の安全に配慮した「大地を守る会」との提携を継続するとともに、毎日の食卓を彩る生鮮品やグロッサリー、百貨店ならではの銘店の品など、毎週のカatalogに約1,200点を掲載しております。

「1都6県」にて、午後3時までのご注文で最短「翌日」の「ご指定の時間帯」に、「手渡し」でお届けいたします。

詳細は、三越伊勢丹エムアイデリホームページをご覧ください。

「クイーンズ伊勢丹」の新店が オープンいたします

株式会社三越伊勢丹フードサービスが運営する「クイーンズ伊勢丹」は、デイリーな食材から嗜好品まで豊富な品揃えで上質なライフスタイルの提案を目指す独自性の高い食品専門のスーパーマーケットです。

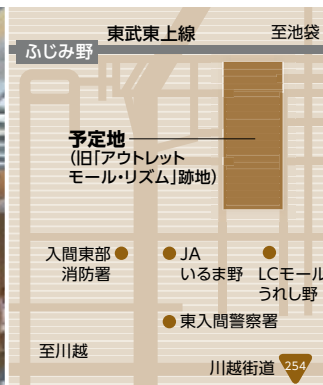
当社グループは、お客さまの日々の暮らしにより深く関わることで、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立ちたいと考えております。「クイーンズ伊勢丹」につきましても、お客さまの生活圏に

当社グループとの接点を広げるべく、今後も首都圏を中心に新たな出店を検討してまいります。

なお、平成24年夏、埼玉県ふじみ野市のショッピングセンター(旧「アウトレットモール・リズム」跡地)内に、「クイーンズ伊勢丹」の新店がオープンいたします。同店におきましては、生鮮品や惣菜などを中心に、安全・安心・健康を重視した質の高い品揃えとサービスを実現することで、地域のお客さまのご期待にお応えしてまいります。



<クイーンズ伊勢丹ふじみ野店(完成後のイメージ)・予定地>



JR大阪三越伊勢丹 ご好評のショップを紹介いたします

フラワー&フレグランス 「フラチュール」 1階

平成23年5月4日にオープンしたJR大阪三越伊勢丹の玄関口、1階にある「フラチュール」は、「花と香り」という、まったく新しいコンセプトをご提案するショップです。



<フラチュール>

- 「花」のゾーンでは、気持ちを伝えるためのギフトとして、さまざまな彩りの花や雑貨をご提案しており、特に<ラデュレ>の雑貨ゾーンが人気を博しております。
- 「香り」のゾーンでは、異なる香りを自分好みに重ね合わせるフレグランスコンパニングで有名な<ジョー マローン>やNY発パフュームブランドの<ルラボ>が関西に初登場いたしました。

さらに、9月7日からは同じ1階に「ハロッズ」がオープンし、連日多くのお客さまにご来店いただいております。

レストラン街「イートパラダイス」 お野菜中心のビュッフェレストラン 「元気になる農場レストラン モクモク」 10階

開店以来、賑わいが続くレストラン街で特にご好評いただいているのが、大阪初出店の「元気になる農場レストラン モクモク」です。モクモク手づくりファームの自家製のハムやウインナー、地元の新鮮野菜を中心としたこだわりのサラダなど、常時60種類以上の料理をビュッフェスタイルでお楽しみいただけます。また、グリルコーナーでは、ハムやウインナーなど、できたての味をご賞味いただけます。



<元気になる農場レストラン モクモク>

日本で最初の文化展を開催した三越は、一世紀以上にわたって時代と次代の美術界を担う芸術家を発掘。その「人」と「作品」を多くの人々に紹介し続けています。

時代と次代の美術界を担う芸術家を紹介——三越の美術

三越の美術。その歴史は、明治37年に三越日本橋本店が開催した「光琳遺品展覧会」が始まりです。美術界の巨星・尾形光琳の人物・花鳥・山水画などを展示した展覧会は、三越が開催した初めての文化展覧会であると同時に、日本で

最初の文化展となり、以後、さまざまな展覧会が開催される幕開けとなりました。その3年後に開設した三越美術部は、創部以来、100年以上にわたって時代の、そして次代の美術界を担う芸術家を紹介し続けております。

三越日本橋本店 新館7階ギャラリー

展覧会のご案内

生誕110年 荻須高德展

パリで画業を重ね文化勲章を受章した荻須高德。日本国内での初個展は三越日本橋本店で開催されました。その後も、荻須はパリに住み続けながら、国内では三越を舞台に作品を発表し続け、84歳の生涯を遂げました。生誕110年を記念して開催される本展は世界的な評価を受ける荻須の画業を一堂に振り返るものです。

会期：平成23年12月27日(火)～平成24年1月16日(月)
主催：朝日新聞社



パリ「ヴニーズ通り」1953年

日本の美を愛した巨匠たち

近代日本画の名品展 —横山大観から平山郁夫まで—

横山大観、東山魁夷、平山郁夫など近代日本美術の歴史に大きな足跡を残した巨匠による四季の日本風景を一堂に展覧いたします。



東山魁夷「宵桜」1982年

会期：平成24年1月25日(水)～2月6日(月)

主催：読売新聞社

同文化展は 会期：平成24年1月2日(月・振休)～1月15日(日)
新潟でも 会場：新潟三越7階美術特別会場
開催されます 主催：新潟日報社

三越日本橋本店 新館7階ギャラリー 本館6階美術フロア

「三越美術特選会」のご案内

「美術特選会」は、三越美術部が総力を挙げて開催する美術総合販売催事です。新館7階では、日本画、洋画、版画、彫刻、本館6階美術フロアでは、十四代酒井田柿右衛門氏の新作展を中心に、工芸、西洋美術など約1,000点を一堂に展示いたします。幅広い価格帯の中から、ご自分だけのお気に入りの一品と出会う絶好の機会です。

会期：平成24年1月18日(水)～1月23日(月)



安西大「花の咲く風景・薔薇」2011年

三越日本橋本店 主要展覧会情報

■ 本館6階美術特選画廊 ● 新館7階ギャラリー

平成23年11月

November

■ 11月30日(水)～12月6日(火)
木村芳郎 作陶展
金森宰司 油絵展

平成23年12月

December

■ 12月7日(水)～12月13日(火)
大野百樹 日本画展
松井康陽 作陶展
■ 12月14日(水)～12月20日(火)
木下五郎 彫鍛金展
荻須高德 秀作展
■ 12月21日(水)～12月27日(火)
第36回 白日会 選抜展

平成24年1月(1月1日は休業日)

January

■ 1月11日(水)～1月17日(火)
墨象作家 篠田桃紅の世界
丸山勉 洋画展
● 1月18日(水)～1月23日(月)
三越美術特選会
■ 1月18日(水)～1月24日(火)
十四代酒井田柿右衛門展

■ 1月25日(水)～1月31日(火)
入江一子 洋画展

● 1月25日(水)～2月6日(月)
日本の美を愛した巨匠たち
近代日本画の名品展
—横山大観から平山郁夫まで—



<独立型の革張りシート>

<座席を10席に限定>



<三越プレミアムクルーザー>

I s e t a n 伊勢丹の取り組み A c t i v i t i e s

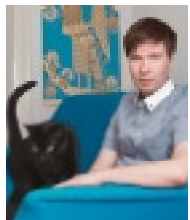
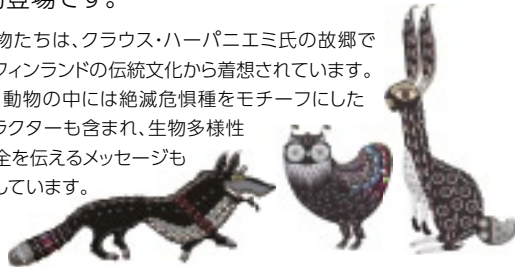
クラウス・ハーパニエミ氏が描く伊勢丹のクリスマス。ワンダーエデンに住む動物や昆虫がさまざまな物語を紡ぎます。本年は、ファン待望のオリジナルクリスマスグッズも初登場いたします。

©2011 Klaus Haapaniemi

“White Wonder Christmas”キャンペーンを実施

クラウス・ハーパニエミ氏が描く装飾的で不思議な生き物と自然をモチーフに、一昨年、昨年と好評を博してきた伊勢丹のクリスマスキャンペーン。店内装飾などで展開される生き物たちの物語は多くのお客さまの共感を呼んでいます。本年は、“White Wonder Christmas”をテーマに、人気キャラクターの「オオカミ・フクロウ・ウサギ」をはじめ、日本固有種の「トキ・ヤマネ・ニホンカモシカ」など数多くのワンダーな生き物が登場いたします。ファンの声から生まれたワンダーエデンに住む生き物たちのクリスマスグッズも初登場です。

生き物たちは、クラウス・ハーパニエミ氏の故郷であるフィンランドの伝統文化から着想されています。また、動物の中には絶滅危惧種をモチーフにしたキャラクターも含まれ、生物多様性の保全を伝えるメッセージも発信しています。



クラウス・ハーパニエミ氏
Klaus Haapaniemi

1970年生まれ。イラストレーター兼アーティスト。フィンランドで生まれ育ち、現在はロンドンを拠点に活動。故郷の文化や自然を大切にしながらも、現代的なアイデアを特徴的な描線や色使いで表現。想像力豊かな不思議なキャラクターたちと風景が、世界の人気ブランドやメディアから注目を集めている。



<“White Wonder Christmas”キャンペーンポスター>

クラウス・ハーパニエミ氏 × 伊勢丹
オリジナルクリスマスグッズ

ワンダーな生き物をモチーフにした限定アイテムを制作いたしました。キャンドル・ハンカチ・スカーフから、ソファ・クッション・枕やスイーツまで、バラエティに富んでいます。



<トートバッグ>



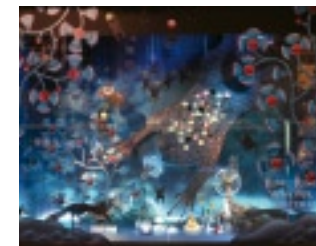
<キャンドル>



<「アンリ・ルルー」キャラメルサパン>

「ディスプレイデザイン賞2011」を受賞

伊勢丹新宿本店のウィンドウ・ディスプレイ3作品が、国内最大の空間デザイン賞「ディスプレイデザイン賞2011」（主催：社団法人日本ディスプレイデザイン協会）を受賞いたしました。クリスマスウィンドウ作品“RINGRING WON-



<伊勢丹新宿本店 ウィンドウ(昨年)>

DER CHRISTMAS”が最高賞の「ディスプレイデザイン大賞」を、また“グローバルグリーン”“デザインタイド「チャームランド」”の2作品が「奨励賞」を受賞いたしました。

MICARDを発行する(株)エムアイカードは、当社グループのお客さまが「お得に、便利に使えるカード」の発行・運営を行っています。また近年は、お客さまのライフステージの変化に応じたコンサルティングサービス等をご提供する「トータル・ライフ・アテンダント事業」を展開しております。

エムアイカード社の 取り組み

エムアイカード・
アメリカン・エキスプレス®・カードが新登場

三越 M CARD・伊勢丹アイカード・MICARD
新規会員募集中 [初年度年会費無料]

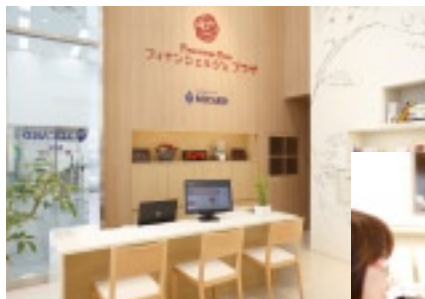


株主様ご優待カードを利用したお買物をご決済いただくと、年間お買いあげ額に加算されますので、使うほどに翌年のご優待率がアップいたします。

お客さまのライフステージの変化を支える トータル・ライフ・アテンダント

エムアイカード社は、お客さまの生活全般にわたってご相談いただける存在「トータル・ライフ・アテンダント」を目指し、お客さまの生涯にわたっての生活設計に関わる「お悩み」や「ご不安」の解決をお手伝いさせていただくためのサービスを取り揃えております。

コンサルティングでは、生命保険・資産運用・相続・遺言・葬祭に関わるご相談をはじめ、不動産の売買や土地の有効活用に関わるご相談など、さまざまにご相談を無料で個別にお受けし、お客さまに最適なプランでお応えしております。



<フィナンシャルジュ プラザ>



<コンサルティングイメージ>

無料個別相談のサービスメニューの例

Menu 1
相続・遺言

相続、遺言、事業承継、葬祭等のご相談に、豊富な経験とノウハウを持つ専門家が独自のネットワークでご対応いたします。

Menu 2
不動産

不動産の購入や売却、土地の有効活用などについてのご相談を承ります。なお、不動産の無料査定も行っております。

Menu 3
生命保険

保険の見直しや保障プランの策定をコンサルティングさせていただき、中立的かつ公正な視点で複数社の商品の中から保険選びをお手伝いいたします。

Menu 4
資産運用

資産運用を始めたい方、既に契約済みの金融商品でお悩みの方へもていねいにアドバイスさせていただきます。

🏠 コンサルティングルームの ご案内

定休日：なし(伊勢丹・三越の休業日を除く)

伊勢丹新宿本店 正面玄関並び
「フィナンシャルジュ プラザ」

三越日本橋本店 新館8階
「暮らしのサロン」内

三越銀座店 M5階
「エムカードカウンター」内

伊勢丹浦和店 本館5階
「アイカードカウンター」内

JR大阪三越伊勢丹 地下2階
「エムアイカード・友の会
総合カウンター」内

※ 生命保険のご相談のみ承っております。

コンサルティングは無料で何度でも、ご利用いただけます。

ご予約・お問い合わせ

電話 ☎ 0120-380-970
受付時間：午前10時～午後6時(1月1日を除く)

WEB <http://www.micard.co.jp>
24時間予約受付

※ コンサルティングをご希望の方は、事前にご予約いただきますようお願いいたします。

募集代理店 (株)エムアイカード SL11-5602-0880

社会貢献活動(チャリティ)のご紹介

「メリーグリーンクリスマス」チャリティキャンペーン

当社グループは、お客さまに夢を持っていただきながら環境保護にご協力いただくために、グリーンサンタ®をコンセプトにしたストラップをチャリティ販売し、収益金を森づくりや森林環境教育に取り組む団体「グリーンサンタ基金」に寄付しております。基金では、協賛金やチャリティ金をもとに、間伐した国産材でつくられた製品を教育機関に寄贈し、子どもたちに環境や森林について関心を持ってもらいたいと活動を続けています。



<三越日本橋本店カウンター>

<伊勢丹新宿本店カウンター>

WWF(世界自然保護基金)ジャパン

平成23年4月、(株)三越伊勢丹が誕生しました。この新たなスタートと、WWFの創立50周年を記念して、生物多様性と絶滅危惧種の動物を守るチャリティキャンペーンを開催いたしました。チャリティ金はWWFジャパンに寄付され、インドネシア・スマトラ島を中心とした森林保全活動に使われるほか、一部は日本赤十字社を通じて東日本大震災の被災地の支援に役立てられました。



<チャリティ金の贈呈式>

地球環境保全への貢献

Kiss the Earth

ファッションやライフスタイルの提案だけでなく、地球環境保全に対しても多くのお客さまに共感のメッセージを届けたい。そんな想いをもとに、当社グループではさまざまなエコアクションを、「Kiss the Earth~人に地球に優しいキス、を。」という環境スローガンとともにお客さまに紹介しております。



Kiss the Earthは、当社グループの環境活動への取り組みです。

三越銀座店

銀座テラス

三越銀座店では、平成22年9月の本館増床を機に、芝生広場やテラスガーデン、屋上農園テラスファームなど、人と自然のつながりを実感できる憩いの公共空間「銀座テラス」を設置いたしました。



建物の緑化率は30%を超え、東京都の基準におけるトップランナーとして注目されています。

伊勢丹新宿本店

アイ・ガーデン

伊勢丹新宿本店では都会の中でお客さまがゆったりとくつろげるスペースとして、また次世代を担う子どもたちが自然に触れられる場所として、「植物と暮らし」をテーマに約350種類の植物を植え込んであります。



5周年を迎えた平成23年は、植物と暮らしの関わりや、当社グループの社会環境活動について紹介する「エコロジー展2011」を開催しました。

東日本大震災復興支援への取り組み

当社グループは、東日本大震災の被災地の皆様を支援するために、義援金の拠出、募金活動の実施、救援物資の提供などさまざまな活動に取り組んでおります。主な取り組みの概要を紹介いたします。

募金活動の実施

本年3月12日から9月25日までにグループ各店にお寄せいただいた募金金額は[54,818,354円]となりました。募金は、日本赤十字社を通じて被災地の支援に役立てられます。ご協力いただきました皆様に心から感謝いたします。なお、引き続き当社グループ各店入口インフォメーションカウンターに募金箱を設置しております。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

救援物資の提供

本年3月12日以降、名取市、多賀城市、石巻市の災害対策本部宛に、ミネラルウォーター3万3千本をはじめ飲料や米、食品19万食相当、防寒衣料、寝具、肌着など計320トンをお届けいたしました。

被災地域の物産展の開催

当社グループの各店舗で3月から7月までに、『東北物産展』を計11回開催いたしました。

また4月には、伊勢丹新宿本店で『チア・アップ!東日本フェア』を開催いたしました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間		科目	当第2四半期 連結会計期間	
	前連結会計年度 平成23年3月31日現在	平成23年9月30日現在		前連結会計年度 平成23年3月31日現在	平成23年9月30日現在
資産の部	1,237,775	1,204,285	負債の部	819,622	768,035
流動資産	242,792	226,897	流動負債	418,586	372,128
現金及び預金	56,940	27,853	支払手形及び買掛金	96,230	97,472
受取手形及び売掛金	87,431	93,242	短期借入金	49,425	15,774
有価証券	1,001	623	コマーシャル・ペーパー	50,000	50,000
商品及び製品	55,884	56,886	未払法人税等	2,389	2,430
仕掛品	112	75	商品券回収損引当金	22,667	21,894
原材料及び貯蔵品	1,118	1,076	引当金	12,570	10,820
その他	43,228	50,325	その他	185,302	173,735
貸倒引当金	△2,924	△3,187	固定負債	401,036	395,907
固定資産	994,888	977,308	社債	24,000	24,000
有形固定資産	746,704	740,098	長期借入金	90,500	102,300
建物及び構築物(純額)	187,878	182,227	繰延税金負債	194,444	185,600
土地	537,856	537,675	退職給付引当金	44,257	44,587
その他(純額)	20,969	20,195	引当金	33	33
無形固定資産	48,768	46,526	負ののれん	26,468	19,851
のれん	1,320	-	その他	21,332	19,534
その他	47,448	46,526	純資産の部	418,152	436,250
投資その他の資産	199,414	190,683	株主資本	422,556	440,443
投資有価証券	88,911	87,635	資本金	50,047	50,088
その他	112,383	104,824	資本剰余金	325,007	325,048
貸倒引当金	△1,879	△1,776	利益剰余金	47,693	65,508
繰延資産	95	80	自己株式	△191	△202
社債発行費	95	80	その他の包括利益累計額	△16,055	△16,326
合計	1,237,775	1,204,285	その他有価証券評価差額金	△2,996	△3,951
			繰延ヘッジ損益	19	△7
			為替換算調整勘定	△13,078	△12,368
			新株予約権	1,083	967
			少数株主持分	10,568	11,166
			合計	1,237,775	1,204,285

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

財務状態のポイント

財務の安全性を表す「有利子負債残高」は、前連結会計年度末と比べて21,851百万円減少し、192,074百万円となりました。

なお当社は、財務基盤改善のため有利子負債の削減に努めております。

総資産に占める自己資本の割合で安全性を表す「自己資本比率」は、前連結会計年度末と比べて2.4ポイント改善し、35.2%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成22年4月 1日より 平成22年9月30日まで	連結累計期間 平成23年4月 1日より 平成23年9月30日まで
売上高	579,921	583,645
売上原価	415,872	419,589
売上総利益	164,049	164,056
販売費及び一般管理費	163,131	155,009
営業利益	917	9,046
営業外収益	11,216	10,308
受取利息	392	469
受取配当金	454	442
負ののれん償却額	6,617	6,617
持分法による投資利益	1,727	1,328
その他	2,024	1,450
営業外費用	3,540	3,650
支払利息	903	901
固定資産除却損	533	370
その他	2,103	2,378
経常利益	8,593	15,704
特別利益	526	-
投資有価証券売却益	489	-
関係会社清算益	37	-
特別損失	6,168	3,694
固定資産売却損	69	200
のれん償却額	-	1,099
投資有価証券売却損	7	-
投資有価証券評価損	278	1,167
関係会社整理損	290	-
資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	5,522	-
合併関連費用	-	379
その他	-	848
税金等調整前四半期純利益	2,951	12,010
法人税等	2,144	△9,024
少数株主損益調整前四半期純利益	807	21,034
少数株主利益	394	458
四半期純利益	413	20,576

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成22年4月 1日より 平成22年9月30日まで	連結累計期間 平成23年4月 1日より 平成23年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	16,312	9,589
投資活動による キャッシュ・フロー	△26,947	△10,803
財務活動による キャッシュ・フロー	5,341	△25,509
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△382	336
現金及び現金同等物の 増減額	△5,675	△26,386
現金及び現金同等物の 期首残高	37,366	56,649
現金及び現金同等物の 四半期末残高	31,690	30,263

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

収益状況のポイント

本業の収益力を表す「売上高営業利益率」は、前年同期間と比べて1.4ポイント上昇し、1.6%となりました。

販売活動の効率性を表す「売上高販管費比率」は26.6%となり、前年同期間と比べて1.5ポイント改善いたしました。

Point

キャッシュ・フロー状況のポイント

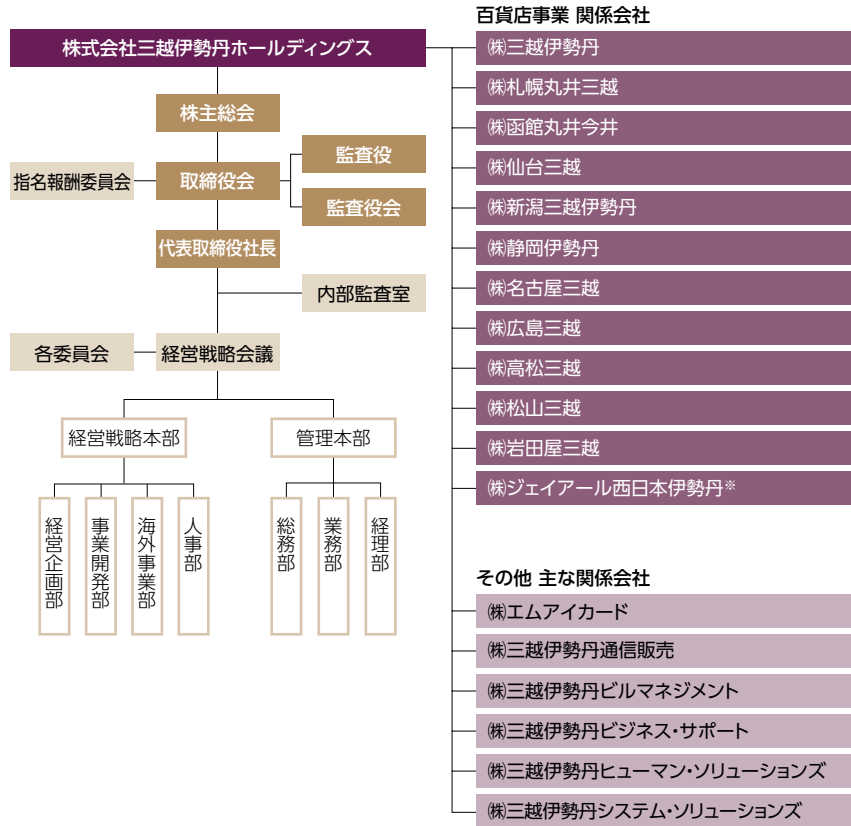
会社が自由に使える資金で経営状態を表す「フリー・キャッシュ・フロー※」は、前年同期間と比べて9,421百万円増加いたしました。

※フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
 事業内容 百貨店業等の事業を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに附帯または関連する事業
 本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目16番10号
 会社設立 平成20年4月1日
 資本金 500億88百万円
 URL <http://www.imhds.co.jp>

組織図 (平成23年9月30日現在)



役員 (平成23年9月30日現在)

地位	氏名	担当または重要な兼職の状況
代表取締役社長執行役員	石塚 邦雄	(株)三越伊勢丹取締役会長執行役員
代表取締役専務執行役員	高田 信哉	経営戦略本部長
取締役	大西 洋	(株)三越伊勢丹代表取締役社長執行役員兼営業本部長
取締役専務執行役員	太田垣立郎	(株)岩田屋三越代表取締役社長執行役員
取締役常務執行役員	赤松 憲	管理本部長
取締役執行役員	瀬良 知也	経営戦略本部 人事部長
取締役 ^{※1}	畔柳 信雄	(株)三菱東京UFJ銀行取締役会長 本田技研工業(株)取締役 ^{※3} (株)池田泉州ホールディングス取締役 ^{※3} (株)池田泉州銀行取締役 ^{※3} (株)三菱総合研究所取締役 ^{※3} 三菱重工業(株)監査役 ^{※4} 東京海上日動火災保険(株)取締役 ^{※3} (社)日本経済団体連合会副会長
取締役 ^{※1}	宮村 眞平	三井金属鉱業(株)相談役 パウダーテック(株)取締役会長
取締役 ^{※1}	池田 守男	(株)資生堂相談役 東京メトロポリタンテレビジョン(株)取締役 ^{※3} 旭化成(株)取締役 ^{※3} (株)ワコールホールディングス取締役 ^{※3} 学校法人東洋英和女学院理事長・院長 学校法人資生堂学園理事長
常勤監査役	二瓶 郁夫	(株)岩田屋三越監査役 ^{※4} (株)ジェイアール西日本伊勢丹監査役 ^{※4}
常勤監査役	小島 浩介	(株)札幌丸井三越監査役 ^{※4} (株)名古屋三越監査役 ^{※4}
監査役 ^{※2}	北山 禎介	(株)三井住友銀行取締役会長 富士フィルムホールディングス(株)取締役 ^{※3}
監査役 ^{※2}	飯島 澄雄	東京虎ノ門法律事務所 弁護士 (株)TKC監査役 ^{※4} 北川工業(株)監査役 ^{※4} (株)商船三井監査役 ^{※4}

(ご注意) 1. ※1印は社外取締役であります。 5. (株)三越および(株)伊勢丹は平成23年4月1日付で、(株)三越を承継会社、(株)伊勢丹を消滅会社として合併し(株)三越伊勢丹となりました。
 2. ※2印は社外監査役であります。 6. (株)札幌丸井今井および(株)札幌三越は平成23年4月1日付で、(株)札幌丸井今井を承継会社、(株)札幌三越を消滅会社として合併し(株)札幌丸井三越となりました。
 3. ※3印は当該株式会社における社外取締役であります。
 4. ※4印は当該株式会社における社外監査役であります。

会社の株式に関する事項 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000株
発行済株式の総数	394,720,394株
	※ うち自己株式数は、184,532株であります。
株主数	156,939名



単元未満株式の買取・買増制度のご案内

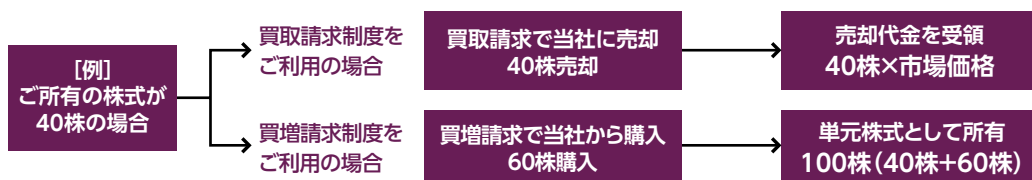
当社の単元株式数は100株となっております。1株から99株の単元未満株式につきましては、株式市場で売買取できない、株主総会での議決権がないなどの制約があります。

そのようなご不便を解消するため、単元未満株式を当社が買取する制度および株主様が当社に対して買増しを請求できる制度がございます。

単元未満株式の買取・買増制度の概要

買取請求制度: ご所有の100株未満の株式を当社に買取よう請求できる制度です。

買増請求制度: ご所有の単元未満株式を100株(単元株)にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。



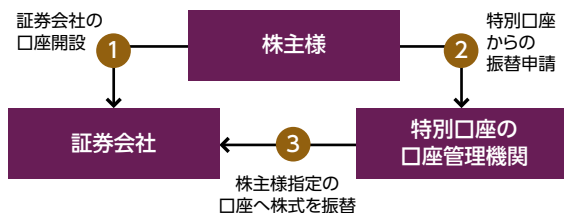
- (ご注意) 1. 単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、特別口座に記録されている場合は特別口座管理機関にお問い合わせください。
2. 当社では、単元未満株式の買取・買増に係る手数料は無料とさせていただきます。(ただし、証券会社等によっては、取次手数料が発生する場合がございます)

特別口座をご利用の株主様へのご案内

特別口座とは、株券電子化移行時に株券をほふり(証券保管振替機構)に預託しなかった株主様のために、当社が信託銀行に開設した口座です。

特別口座に記録されている株式は、そのままでは売却ができません。株式に係るお手続きを容易にするためにも、証券会社に口座を開設し、特別口座からの振替を行っていただきますようお願い申し上げます。

特別口座から証券会社の口座への振替のお手続き(①②③)がお手続きの順番となります



- (ご注意) 1. ②のお手続きにつきましては、右記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。(旧)岩田屋の株主様については、みずほ信託銀行、それ以外の株主様については、三菱UFJ信託銀行が特別口座の口座管理機関となっております。
2. すでに証券会社等に口座をお持ちの場合、①のお手続きは必要ございません。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.imhds.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、特別口座の口座管理機関の全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 当社と株式会社岩田屋の株式交換の効力発生日の前日である平成21年10月14日において、株式会社岩田屋の株式を特別口座でご所有の株主様につきましては、みずほ信託銀行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、(旧)株式会社岩田屋株式にかかる特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
(旧)株式会社岩田屋株式にかかる特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324 (通話料無料)

株式会社三越伊勢丹ホールディングスは、中間配当を行わず、期末に一括して配当を実施する予定でございます。

国内の主要店舗

(株)三越伊勢丹	三越				
	日本橋本店	〒103-8001	東京都中央区日本橋室町1-4-1	03-3241-3311 (代表)	
	銀座店	〒104-8212	東京都中央区銀座4-6-16	03-3562-1111 (代表)	
	千葉店	〒260-8631	千葉県千葉市中央区富士見2-6-1	043-224-3131 (代表)	
	新宿アルコット店	〒160-8455	東京都新宿区新宿3-29-1	03-3354-1111 (代表)	
	恵比寿店	〒150-6090	東京都渋谷区恵比寿4-20-7	03-5423-1111 (代表)	
	多摩センター店	〒206-8543	東京都多摩市落合1-46-1	042-357-7111 (代表)	
	ラシック店	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-6-1	052-259-6666 (代表)	
	伊勢丹				
	新宿本店	〒160-0022	東京都新宿区新宿3-14-1	03-3352-1111 (代表)	
	立川店	〒190-0012	東京都立川市曙町2-5-1	042-525-1111 (代表)	
	松戸店	〒271-0092	千葉県松戸市松戸1307-1	047-364-1111 (代表)	
	浦和店	〒330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂1-15-1	048-834-1111 (代表)	
	相模原店	〒252-0303	神奈川県相模原市南区相模大野4-4-3	042-740-1111 (代表)	
	府中店	〒183-0023	東京都府中市宮町1-41-2	042-334-1111 (代表)	
(株)仙台三越	仙台三越	〒980-8543	宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15	022-225-7111 (代表)	
(株)名古屋三越	名古屋三越栄店	〒460-8669	愛知県名古屋市中区栄3-5-1	052-252-1111 (代表)	
	名古屋三越星ヶ丘店	〒464-8661	愛知県名古屋市中区星ヶ丘元町14-14	052-783-1111 (代表)	
(株)広島三越	広島三越	〒730-8545	広島県広島市中区胡町5-1	082-242-3111 (代表)	
(株)高松三越	高松三越	〒760-8639	香川県高松市内町7-1	087-851-5151 (代表)	
(株)松山三越	松山三越	〒790-8532	愛媛県松山市一番町3-1-1	089-945-3111 (代表)	
(株)静岡伊勢丹	静岡伊勢丹	〒420-0031	静岡県静岡市葵区呉服町1-7	054-251-2211 (代表)	
(株)札幌丸井三越	丸井今井札幌本店	〒060-0061	北海道札幌市中央区南1条西2-11	011-205-1151 (代表)	
	札幌三越	〒060-8666	北海道札幌市中央区南1条西3-8	011-271-3311 (代表)	
(株)函館丸井今井	丸井今井函館店	〒040-0011	北海道函館市本町32-15	0138-32-1151 (代表)	
(株)新潟三越伊勢丹	新潟伊勢丹	〒950-0909	新潟県新潟市中央区八千代1-6-1	025-242-1111 (代表)	
	新潟三越	〒951-8530	新潟県新潟市中央区西堀通五番町866	025-227-1111 (代表)	
(株)岩田屋三越	岩田屋本店	〒810-8680	福岡県福岡市中央区天神2-5-35	092-721-1111 (代表)	
	岩田屋久留米店	〒830-8510	福岡県久留米市天神町1-1	0942-35-7111 (代表)	
	福岡三越	〒810-8544	福岡県福岡市中央区天神2-1-1	092-724-3111 (代表)	
(株)ジェイアール西日本伊勢丹	ジェイアール 京都伊勢丹	〒600-8555	京都府京都市下京区 烏丸通塩小路下ル東塩小路町	075-352-1111 (代表)	
	JR大阪三越伊勢丹	〒530-8558	大阪府大阪市北区梅田3-1-3	06-6457-1111 (代表)	

海外の主要店舗

イギリス	ロンドン三越(ショップ・レストラン)	
イタリア	ローマ三越	
アメリカ	オーランド三越(ショップ・レストラン)	
中国	花園飯店(上海)三越 上海梅龍鎮伊勢丹 天津伊勢丹 成都伊勢丹 瀋陽伊勢丹	
台湾	新光三越 台北信義新天地A8 桃園駅前店 台北信義新天地A11 新竹中華店 台北信義新天地A9 台中中港店 台北信義新天地A4 嘉義垂楊店 台北南西店一號館 台南中山店 台北南西店二號館 台南西門店 台北南西店三號館 高雄三多店 台北駅前店 高雄左營店一號館 台北天母店 高雄左營店二號館 桃園大有店	
シンガポール	シンガポール伊勢丹・スコッツ店 シンガポール伊勢丹・オーチャード店 シンガポール伊勢丹・カトン店 シンガポール伊勢丹・タンピネス店 シンガポール伊勢丹・マンゴプティック シンガポール伊勢丹・セラングーン店	
マレーシア	クアラルンプール伊勢丹・LOT 10店 クアラルンプール伊勢丹・KLCC店 クアラルンプール伊勢丹・THE GARDENS店	
タイ	バンコク伊勢丹	

本社 ● 〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目16番10号

ホームページアドレス ● <http://www.imhds.co.jp>

証券コード ● 3099



三越伊勢丹ホールディングス

黄櫨染 *korozen*

櫨の黄の下染に蘇芳の赤を上がけた黄褐色で、光の角度により赤みから黄みの褐色にまで変化して見える深みのある中間色である。
黄櫨の色は太陽の色を表している。